

入学式を挙行 高校総体壮行会 レスリング部の活躍

入学許可式を挙行

厳かな雰囲気の中、村田繁校長より入学が許可された106名の新入生に激励の式辞がありました。緊張した面持ちで式に臨んだ新入生を代表して、1組の樋口凌介さん（玉幡中学校出身）が、はつらつと高校生としての決意を述べました。次に、学年主任からホームルーム担任の先生12名が紹介されました。新入生と保護者にとっては、最も身近に関わる職員となるため、興味津々で見聞きしていました。初心を忘れず、充実した高校生活を送って欲しいと思います

初めてのHR（ホームルーム）

入学式を終えた新入生にとって、初めてのHRとなりました。担任の先生の一言一句に耳を傾け、どんな学校なのか？担任の先生はどんな人？クラスの友達とは仲良くなれるかな？など、不安の中にも希望がいっぱいのスタートとなりました。早く学校に慣れて、楽しく充実した学校生活を送って欲しいと思います。

緊張した対面式

4月9日（水）、本校体育館において対面式が行われました。2，3年生の拍手に迎えられ、緊張した面持ちの新入生が入場しました。生徒会長の倉知来翔君から歓迎の言葉があり、新入生を代表して2組の安楽龍聖さん（南浦和中学校出身）があいさつをしました。新入生全員が声を揃えてよろしくお願ひしますとあいさつをすると上級生からは大きな拍手が起きました。この対面式をもって本校生徒の仲間入りです。期待と不安の中、本格的に高校生活がスタートしました

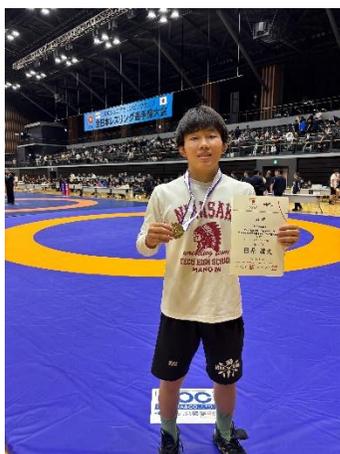
高校総体壮行会

4月25日（金）、本校体育館において高校総体壮行式が行われました。当日は高総体に出場する14競技の選手たちと、高総体での写真撮影に協力する写真部の生徒が参加

しました。校長と生徒会長の激励の言葉の後、選手たちは順番に壇上に登り、高総体に向けての意気込みを語りました。緊張した面持ちの選手、胸を張って堂々としている選手と様々でしたが、どの部も日ごろの練習の成果を発揮して、より高い目標に到達することを生徒たちに約束しました。壮行式の最後では、高総体での活躍を祈り、応援団による熱いエールが行われました。

JOCジュニアオリンピック国内予選

4月26～27日に神奈川県横浜市で行われたJOCジュニアオリンピックカップ全日本レスリング選手権に2年4組の日原煌大選手（八田中出身）がU17の部グレコローマンレスリング60kg級参加しました。この大会は優勝するとU17世界選手権、準優勝するとU17アジア選手権に出場できます。第2シードで登場した日原選手は初戦の二回戦から準決勝まで無失点で勝ち上がり決勝戦まで駒を進めました。決勝戦の相手は昨年の全国グレコ選手権で敗れた京都府の選手でした。前半は相手の圧力に押されて攻め込まれてしまい0-4で試合を折り返します。後半になると息を吹き返し豪快な投げ技や相手を場外に押し出すなどで一気に11点を取り返します。終盤に失点はしたものの11-6で試合を終えて優勝することが出来ました。日原選手は全国大会初優勝になります。また、優勝することが出来たので今年7月にギリシャで行われる世界選手権出場が出来ます。7月の本大会までにまだ時間があるので世界大会でも優勝できるようにしっかりと練習を積んで準備したいと思います。応援よろしくお願ひします。ありがとうございました。



URL [http : //www.nirasakith.kai.ed.jp](http://www.nirasakith.kai.ed.jp)
e-mail nirsakik-k@kai.ed.jp